

教育課程概念図(カリキュラムマップ) (2022年度学則より)

建学の精神	地域のニーズ	教育目的	育成する人材像	ディプロマ・ポリシー	科目区分	開講期						学習成果
						CP1:1年次を教員としての「基礎形成」、2年次を「専門基礎」、3年次を「専門展開」、4年次を「統合と探求」の時期とし、「共通基礎科目」と「専門教育科目」に分け、体系的に教育課程を構成する。	1年次	2年次	3年次	4年次		
キリスト教的価値観に基づく人格形成	もebaつたの 人間の精神 の育成者・ 保育者	DP1	CP2: 建学の精神を背景とした豊かな人間性を有する人材を養成するため、「人間の精神」、「教育の基礎」「教育の教養」「保健体育」を、そして、世代を超えて良好な関係を築かる高いコミュニケーション力を育むために「リテラシー」を、「共通基礎科目」の教養科目群に開設する。	教養科目	基盤形成	専門基礎	専門展開	統合と探求	健康 広い視野 リーダーシップ シヨミュニケーション ニキヤグラカラブラン 地域力 教育的指導力 子ども支援力 社会性・対人関係能力 思創考造力			
					到達目標 ・豊かな人間性を涵養する。 ・高いコミュニケーション力とリーダーシップを身につける。 ・地域力・感性を育める意欲と課題解決力)を身につける。	小幼二歳の到達目標 ・実践力：教員が児童・生徒の指導力と身につける。 ・支援力：子どもに寄り添い、その主体性と協同性を高める学級経営力を身につける。						
					専門教育科目 ・教員は、保護者としての使命感を身に付ける。 ・子ども教科・保育内容への基礎的知識を深める。	幼稚園一歳の到達目標 ・実践力：子どもの生活を豊かにする保育の表現力と環境構造力を身につける。 ・支援力：子どもと保護者の気持ちに寄り添い支援する子育て・子育ち支援力を身につける。						
					前前期	後期	前前期	後期				
					前前期	後期	前前期	後期				
	地域と社会に貢献する人材の育成	DP2	CP3:「働く」ことを通じて地域社会に貢献する人材を養成するため、「教師塾」を「共通基礎科目群」に開設する。	共通基礎科目	●スポーツ・健康Ⅰ(座屈) ●スポーツ・健康Ⅱ(実技)							
					●日本国憲法 ○国際教育論 ○人類生態学概論 ○ロルスクヨーミング科学 ○情報理論	○子どもと遊び ○子どもと文学 ○生命と進化 ○現代メディア論						
					●信愛教育 ●ボランティア実習 ●ボランティア実習 ●いのち倫理	●信愛教育Ⅱ						
					●日本語表現 ●英語コミュニケーション ●英語コミュニケーション ●中国語コミュニケーション	●情報処理演習Ⅰ ●情報処理演習Ⅱ ●フレンチコミュニケーション ●中国語コミュニケーション						
					●教師キャラデザイン ●教師基礎ミーティング ●教師基礎実習	△インターンシップ(事前・事後指導を含む) ●キャリアガイダンスⅠ △教師への道Ⅰ △教師への道Ⅱ △実践キャラクタ教育	●キャリアガイダンスⅡ					
	DP3	CP4: 地域問題を解決する意欲と能力を育むために「紀の国わかつや世界」「地域探求科目」を、「共通基礎科目」の地域連携科目群に開設する。	地域連携科目	や紀の国と世界から	●世界の中の和歌山 ○歴史・文化と風土 ○郷土の自然 ○地域の生活文化							
				△地域連携フィールド学習 ●地域再生施設 ●地域連携フィールドゼミナール			●地域防災教育論					
				●教育論 ●教育制度論 ●教育原理 ●保育原理 ●子ども家庭福祉 ●社会福祉 ●社会的援助								
				●教育課程紹介 ●教育方法論(ICT活用含む) ●保育内容紹介 ●保育の計画と評価								
				○園芸工作Ⅰ ○音楽Ⅰ ○健能演劇入門	●初等教科教育法(園芸工作) ○音楽表現研究 ○健能演劇の表現技法	○造形表現研究 ○音楽表現研究 ○健能演劇の表現技法						
	DP4	CP5:乳幼児・児童の教育・保育指導における問題に直面して対応できる高い実践力を育むために「理念・理論」「教科・保育内容の専門領域」「子ども理解」「教育・保育の実践」「実習」を、子ども一人ひとりに寄り添うことの可能性を信じて伸ばすことのできる支援力を育むために「子どものニーズ支援」を、そして、主体的に学び、探求する他者との協働関係を築いて課題解決活動を実践し創意工夫を有した教育者・保育者を養成するために「課題探求科目」を、「専門教育科目」に開設する。	専門教育科目	理念・理論	○生活Ⅰ ○生活Ⅱ ○子どもの表現Ⅰ ○子どもの表現Ⅱ ○子どもの言葉	●初等教科教育法(生活) ●初等教科教育法(生活) ○乳幼児の表現	○幼児体育Ⅰ ○幼児体育Ⅱ					
				教科・保育・保育の指導等	○子どもと環境	●保育内容の指導法Ⅰ ○算数 ○理科 ○社会 ○家庭 ○初等英語 △特別活動指導論	●保育内容の指導法Ⅱ ○音楽 ○美術 ○社会 ○家庭 ○初等英語 △特別活動指導論	○乳児保育Ⅰ △乳児保育Ⅱ				
				子ども	●急速心理学 ●教育心理学 ●幼児理解の理論と方法	△子ども心理学の心理学 △子どもの保健	△子どもの健康と安全 △子どもの食と栄養Ⅰ △子どもの食と栄養Ⅱ					
				ズ 支 援 も の 二		●教育相談支援 △子育て支援演習 △社会的養護演習 △地域と子育て支援	●生活指導・迷惑指導 △生活指導・迷惑指導 △小学校実習指導 △小学校実習					
				実習		△幼稚園実習指導Ⅰ △幼稚園実習Ⅰ	△幼稚園実習指導Ⅱ △幼稚園実習Ⅱ					
	DP5	●実践研究 ●研究会	科課目題探求実践研究会		△保育実習指導Ⅰ(施設) △保育実習Ⅰ(施設)	△保育実習指導Ⅱ(施設) △保育実習Ⅱ(施設)	△保育実習指導Ⅲ(施設) △保育実習Ⅲ(施設)	△保育実習指導Ⅳ(施設) △保育実習Ⅳ(施設)	○教科実践研究 ○保育内容実践研究 ○保育実習研究 ●専門セミナーⅠ ●専門セミナーⅡ ●卒業研究	○教科実践研究(幼・小) ○保育・教科実践演習(幼)		

ディプロマ・ポリシー

DP1: 一人ひとりを大切にする開かれた心地よい視野、それらを支える身心の健康を身に付けていく。

DP2: 人ととの繋がりを重視した高いコミュニケーション力で、世代を超えて友好的な関係を構築し、奉仕の精神で周囲の信頼を得て主体的に協力してもらえる状況を作り出すことができる。

DP3: 領土を支える意欲と課題解決能力を有し、子どもと地域の将来に貢献する教育者・保育者を養成するために「課題探求科目」を、「専門教育科目」に開設する。

DP4: 学習期までの継続性と理解のための教育を担う専門的実践力と、子ども一人ひとりに寄り添う支援力を身に付けていく。

DP5: 主体的に学び、探求し、独自の発想で子どもや地域に関わる問題の解決にあたることができる。

●卒業必修科目 ○選択必修科目 △選択科目